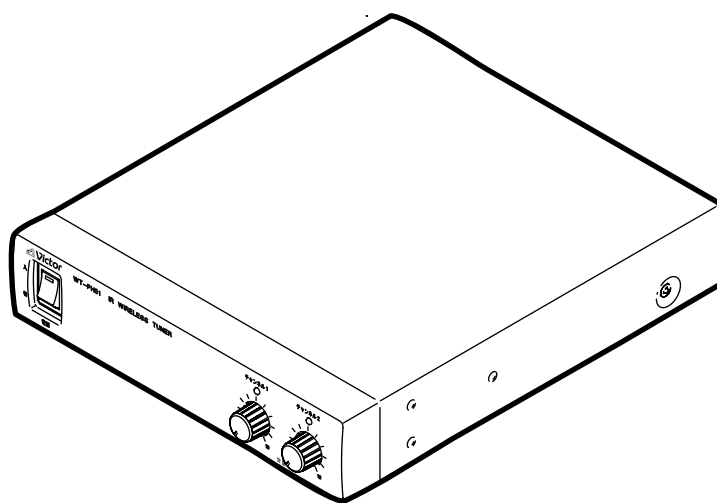
光ワイヤレスチューナー

型名 **WT-PH51**（1、2ch用）
WT-PH53（3、4ch用）
WT-PH55（5、6ch用）

取扱設置説明書

――お買い上げありがとうございます――

ご使用の前にこの「取扱設置説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には本機の背面部に製造番号が正しく記されているか、
またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0827-001B

特長

赤外線方式

本機を使用した光ワイヤレスマイクシステムは、赤外線を利用して音声を送受信しますので、隣接した部屋での混信や電波の漏洩による盗聴の心配がありません。

最大 6 本のマイクを同時使用可能

１台につき２本の光ワイヤレスマイクロホンを使用でき、WT-PH51、WT-PH53、WT-PH55 の３台を使用して同一空間で最大６本の光ワイヤレスマイクを同時に使用できます。

最大 22m 四方の部屋で使用可能

光ワイヤレスチューナー１台につき最大４個の受光センサーを接続できます。受光センサーに WT-PS51、WT-PS53、WT-PS55 を用いた場合は 22m 四方の部屋で、WT-PS31 を用いた場合は 20m 四方の部屋で使用できます。（WT-PS31 は WT-PH51 専用です。）設置された環境や使用状況によって、使用可能な範囲が狭くなることがあります。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

設置

接続

操作

その他

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。

- 許容動作温度（0 ℃ ～ 40 ℃ ）範囲外の暑いところや寒いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

■ 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

■ 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■ 内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

■ オプション機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。
オプション機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。

■ 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続する
電源コードやスピーカー線などの電力線とマイクケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。

移動について

■ 移動するときは接続コード類を外す。
移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■ お手入れするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 本機は柔らかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

■ 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源コードについて

■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

その他

■ 本機は単体ではご使用になれません。本機を含めた光ワイヤレスマイクシステムをご利用になるには、本機のほかに別売の光ワイヤレスマイクロホン、受光センサー、センサーカプラーなどが必要です。
ご使用にあたっては、本機の取扱設置説明書とあわせて関連する機器の取扱設置説明書や取扱説明書をご覧ください。

■ WT-PH51 はチャンネル 1、2 専用、WT-PH53 はチャンネル 3、4 専用、WT-PH55 はチャンネル 5、6 専用の光ワイヤレスチューナーです。他の機器と使用するチャンネルを合わせてください。

■ 本機 1 台で使用できる受光センサーは、合計で 4 個までです。

■ 光ワイヤレスマイクシステムの使用可能範囲は光ワイヤレスマイクロホンや受光センサーの種類や設定、設置方法などによって異なります。光ワイヤレスマイクロホンや受光センサーの取扱設置説明書や取扱説明書でご確認ください。

■ 以下のような場合は、音が途切れたり雑音が出るなどの動作不良となる場合があります。

- 光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーの間に障害物がある場合。
- 受光センサーに太陽光、蛍光灯、プロジェクター、OHP などの強い光が当っている場合。
- 受光センサーが赤外線リモコンの受光部に近い場合。
- 受光センサーの近くでプラズマディスプレイを使用している場合。
- 同じチャンネルの光ワイヤレスマイクロホンを同時に使用した場合。

■ 屋外、他の赤外線機器が設置してある場所、水銀灯が設置してある場所では使用できません。

■ 受光センサーを窓際に設置すると、太陽光の影響を受けてノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。窓際からできるだけ（5m 以上）離して設置してください。それでも改善しない場合は、カーテン・ブラインドを使用すると改善される場合があります。

■ 受光センサーの設置可能な天井高は 2m ～ 4m です。この範囲を超えるとノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。

■ 床・壁や天井の色が黒系統だったり窓が多い部屋では、光マイクロホンからの光の反射を利用できずにノイズが発生したり、音が途切れたりする場合があります。

■ 受光センサーは指定のケーブルを指定の長さで使用します。指定以外の長さを使用すると十分な性能を得られない場合があります。

チャンネルと対応機種の一覧

本機を使用した光ワイヤレスマイクシステムのチャンネルと各機種の関係は以下のとおりです。

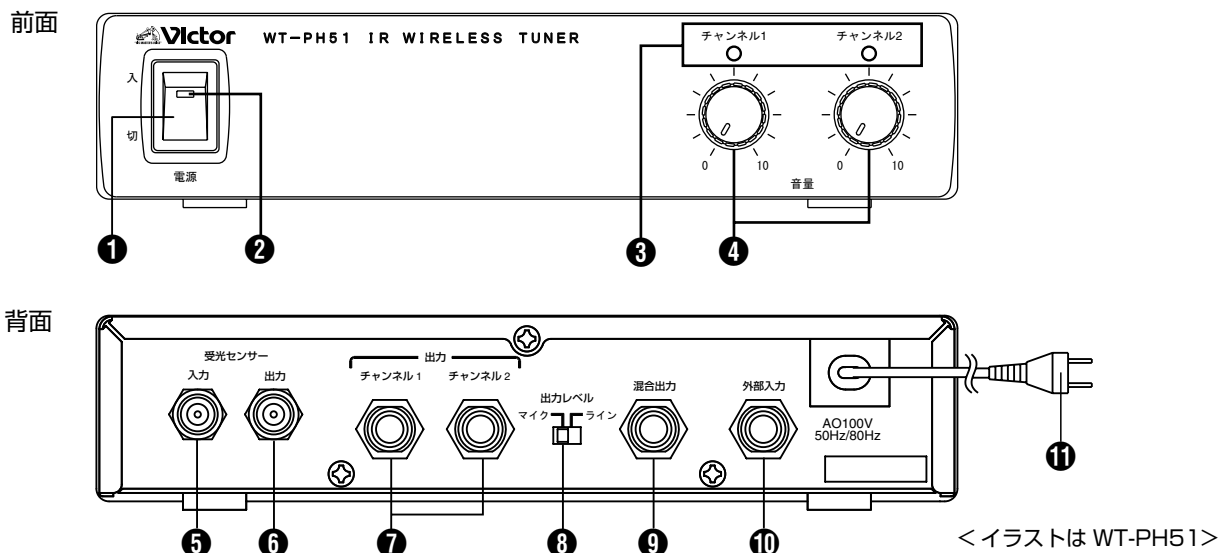
<table>
<tr><th rowspan="2">機種
チャンネル</th><th colspan="2">光ワイヤレスチューナー</th><th colspan="2">光ワイヤレスマイクロホン</th><th colspan="2">受光センサー</th><th rowspan="2">チャージャー</th><th rowspan="2">センサーカプラー</th></tr>
<tr><th>据置型
(EIA 1U ハーフ)</th><th>内蔵ユニット型</th><th>ハンド型</th><th>ペンダント型</th><th>ドーム型</th><th>コーナー型</th></tr>
<tr><td>1ch</td><td rowspan="2">WT-PH51
(チャンネル 1、2 に対応)</td><td>WT-UH51
(チャンネル 1 に対応)</td><td rowspan="6">WT-PH57
(チャンネル切換式)</td><td rowspan="6">WT-PH58
(チャンネル切換式)</td><td rowspan="2">WT-PS51
(チャンネル 1、2 に対応)</td><td rowspan="2">WT-PS31
(チャンネル 1、2 に対応)</td><td rowspan="6">WT-C52
(チャンネル関係なし)</td><td rowspan="6">WT-D82
または
WT-D84
(チャンネル関係なし)</td></tr>
<tr><td>2ch</td><td>WT-UH52
(チャンネル 2 に対応)</td></tr>
<tr><td>3ch</td><td rowspan="2">WT-PH53
(チャンネル 3、4 に対応)</td><td rowspan="2">対応機種なし</td><td rowspan="2">WT-PS53
(チャンネル 3、4 に対応)</td><td rowspan="2">対応機種なし</td></tr>
<tr><td>4ch</td></tr>
<tr><td>5ch</td><td rowspan="2">WT-PH55
(チャンネル 5、6 に対応)</td><td rowspan="2">対応機種なし</td><td rowspan="2">WT-PS55
(チャンネル 5、6 に対応)</td><td rowspan="2">対応機種なし</td></tr>
<tr><td>6ch</td></tr>
</table>

※本機を使用した場合、光ワイヤレスチューナーの内蔵ユニット型はご利用できません。

各部の名称とはたらき

前面

背面

＜イラストは WT-PH51＞

❶［入／切］電源スイッチ

光ワイヤレスチューナの電源を入／切します。

❷［電源］電源ランプ

電源が入ると赤色に点灯します。

❸［チャンネル 1、2］受信ランプ

受信したチャンネルが緑色に点灯します。WT-PH51 はチャンネル 1 と 2、WT-PH53 はチャンネル 3 と 4、WT-PH55 はチャンネル 5 と 6 です。

❹［音量］音量つまみ

チャンネルの音量を調整します。WT-PH51 はチャンネル 1 と 2、WT-PH53 はチャンネル 3 と 4、WT-PH55 はチャンネル 5 と 6 です。

❺［受光センサー 入力］受光センサー入力端子

センサーカプラーの出力と接続します。

❻［受光センサー 出力］受光センサー出力端子

受光センサーを接続しても動作しません。

❼［出力 チャンネル 1、2］音声出力端子（個別）

チャンネルの音声を個別に出力します。WT-PH53 はチャンネル 3 と 4、WT-PH55 はチャンネル 5 と 6 です。
出力レベルは -10dBs（10kΩ 不平衡）です。
接続には φ6.3 単頭フォンプラグを使用します。

❽［出力レベル マイク、ライン］音声出力レベル切換スイッチ

音声出力端子（混合）❾ の信号レベルを切り換えます。マイク =-50dBs（10kΩ 不平衡）、ライン =-10dBs（10kΩ 不平衡）、出荷設定はラインです。

メモ：

- 音声出力端子（個別）❼ のレベルの切り換えはできません。

❾［混合出力］音声出力端子（混合）

2 つのチャンネルの音声が混合して出力されます。WT-PH51 はチャンネル 1 と 2、WT-PH53 はチャンネル 3 と 4、WT-PH55 はチャンネル 5 と 6 です。出力レベルは音声出力レベル切換スイッチ ❽ の設定によります。また、外部入力端子 ❿ の音声も出力されます。
接続には φ6.3 単頭フォンプラグを使用します。

❿［外部入力］外部音声入力端子

音声出力端子（混合）❾ に出力する音声を入力します。複数の光ワイヤレスチューナーを使用する場合にご使用ください。
接続には φ6.3 単頭フォンプラグを使用します。

メモ：

- 他の光ワイヤレスチューナーの混合出力端子を接続してください。
- 接続される光ワイヤレスチューナーの音声出力レベル切換スイッチ ❽ は、必ずラインに設定してください。

⓫ 電源コード

AC100V 50Hz/60Hz のコンセントへ接続します。

本機の設置

本機は卓上またはラック組み込みで使用できます。

卓上で使用する

本機をそのまま卓上に置いてご使用ください。

ご注意：

- 本機は必ず安定した場所に設置してください。
- 本機は、ラジオ、テレビ、コンピューター、アンプなどの側から１ m 以上離して設置してください。

EIA 標準ラックに組み込んで使用する

本機にラックマウント金具 (別売) を取り付けて、EIA 標準ラックに組み込みます。

ラックマウント金具 （品番：WT-U51）

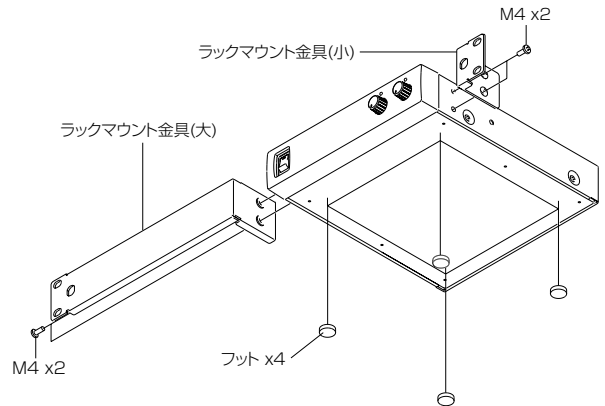
メモ：

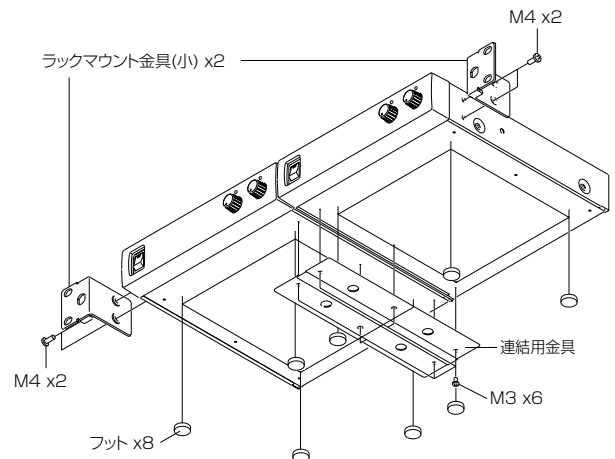
- WT-U51 の内容
  - ラックマウント金具 ：(大) × １ 、(小) × ２
  - 連結用金具 ：× １
  - スクリュー ：(M4 × 8mm) × 4、(M3 × 6mm) × 6
- WT-U51 の購入については、お買い上げの販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。

ご注意：

- 取り付け用ネジは、必ず WT-U51 に添付のものをご使用ください。

■ ラックマウント金具の取り付け (本機 1 台の場合)

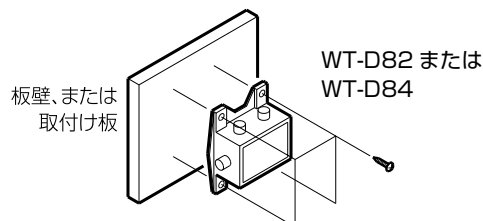
フットをはずし、ラックマウント金具 (大)、(小) をスクリュー (M4) で取り付けます。

■ ラックマウント金具の取り付け (本機 2 台の場合)

フットをはずし、ラックマウント金具 (小) をスクリュー（M4）で、連結用金具をスクリュー (M3) で取り付けます。

センサーカプラーと受光センサーの設置

ご注意：

- この作業は、技術を必要とします。必ず販売店または専門の工事店に依頼してください。

センサーカプラーの設置

板壁または収納ボックスの取り付け板に、センサーカプラーに添付のネジで取り付けます。

ご注意：

- センサーカプラーはアースに落としたり、金属類に触れないようにしてください。ノイズが発生したり、音が途切れたりする場合があります。

受光センサーの設置

1 設置場所の確認

設置場所は以下の内容をご確認ください。

- 障害物の陰にならないこと。
- 太陽光、蛍光灯、プロジェクター、OHP 等の強い光が当らないこと。
- リモコン受光部の近くでないこと。
- プラズマディスプレイ（赤外線非対応モデル）の近くでないこと。

ご注意：

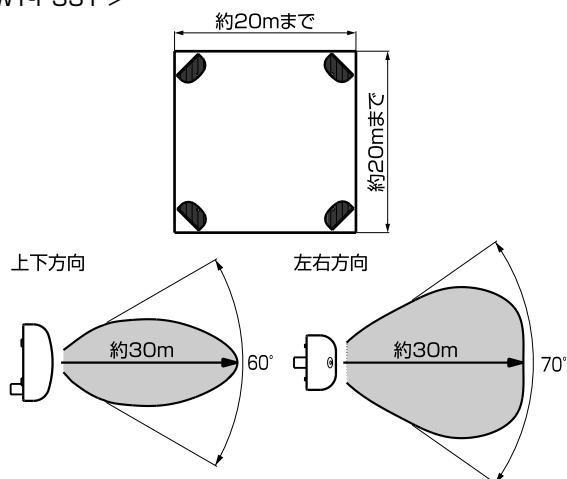
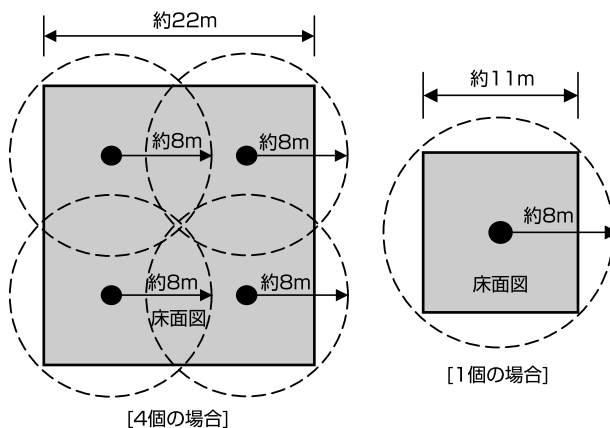
- 蛍光灯からは 1 m 以上離して設置してください。
- 受光センサーの本体、取り付けブラケットはアースに落とさないでください。ノイズが発生したり、音が途切れたりする場合があります。

2 受光センサーの設置のしかた

設置は受光センサーに添付のブラケットを使用して行ないます。受光センサーの取扱設置説明書をご覧いただき、正しく安全に設置してください。

3 受光可能範囲

使用する受光センサーによって受光可能範囲が変わります。

コーナー型受光センサー
< WT-PS31 >

ドーム型受光センサー
<WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55>

メモ：

- 受光センサーは、光ワイヤレスマイクロホンを使用する位置から見通せる場所、WT-PS31 の場合は対角線上に設置すると有効です。
- 光ワイヤレスマイクロホンをどの場所で使用しても光ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯することを目安に受光センサーの設置場所、向き、角度を調整してください。
- 受信ランプが点灯しない場合は、ノイズが発生したり音声が出ないことがあります。
- 安定して受信できる部屋の大きさは、センサーに WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55 を 4 個使用した場合で 22m 四方、センサーに WT-PS31 を４個使用した場合で 20m 四方です。
- 光ワイヤレスマイクロホンの種類や設定によって使用できる範囲がことなります。各マイクロホンの取扱説明書でご確認ください。

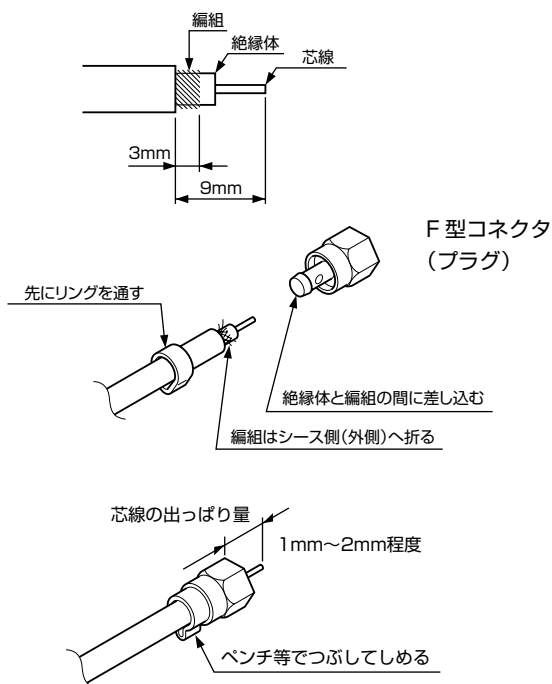
受光センサーの接続

■ 本機１台で受光センサーを最大４個接続できます。WT-PH51 には WT-PS31 または WT-PS51、WT-PH53 には WT-PS53、WT-PH55 には WT-PS55 を使用します。

■ 本機と受光センサーとの接続は同軸ケーブル 5C-FB を使用します。

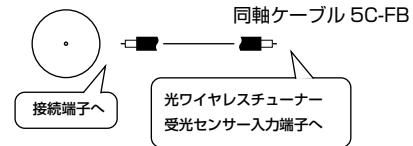
ご注意：
- この作業は、技術を必要とします。必ず販売店または専門の工事店に依頼してください。

ケーブルの準備

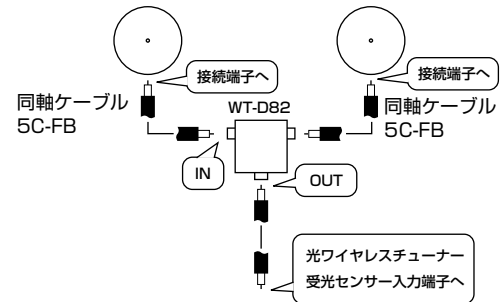
以下の図に従って、カプラーに添付の F 型コネクタ（プラグ）をケーブルに取り付けます。

ご注意：
- センサーカプラーを使用しないときは、F 型コネクタを別途ご用意ください。
- 受光センサーに接続するときは、F 型コネクタを取り付けたケーブルの芯を曲げないようにしてください。また、芯線が曲がっていないかご確認ください。
- F 型コネクタ接続後、ケーブルが抜けたりしないようにリングをしっかり閉め付けてください。
- 接続ケーブルは 5C-FB を推奨します。5C-FB 以外のケーブルを使用しますと、十分な性能を得られない場合があります。

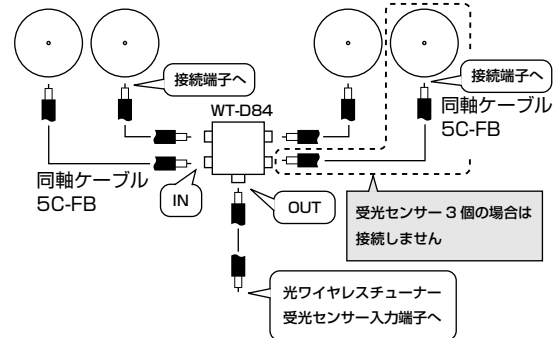
接続のしかた

■ 受光センサー 1 個の場合

WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55 または WT-PS31　1 個
(図は WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55)

ご注意：
- 受光センサー 1 個の場合、障害物の陰になりやすいので十分にご検討の上でご使用ください。
- 受光センサー 1 個の場合、センサーカプラーは使用しません。直接、光ワイヤレスチューナー受光センサー入力端子にケーブル長 100m 以下で接続してください。

■ 受光センサー 2 個の場合

WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55 または WT-PS31　2 個
(図は WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55)

■ 受光センサー 3 個または 4 個の場合

WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55 または WT-PS31　4 個
(図は WT-PS51/WT-PS53/WT-PS55)

ご注意：
- 受光センサーを複数設置するときは、受光センサーとセンサーカプラーを接続するケーブルを同じ長さにしてください。(ケーブル長差 2m 以下) また、受光センサーから受光センサー入力端子までの長さ (センサーカプラーの中継含む) が、それぞれ 100m 以下となるように接続してください。
- ケーブルを配線する際は、他の機器のケーブル（動力、調光器ケーブルやスピーカーケーブルなど）と束ねたり近づけたりしないでください。ケーブルを近づけるとノイズを発生するなどの影響を受ける場合があります。
- 受光センサー入力端子には直流電源が出力されています。接続の際にケーブルを他の金属に接触させないでください。故障の原因となります。

システムの接続

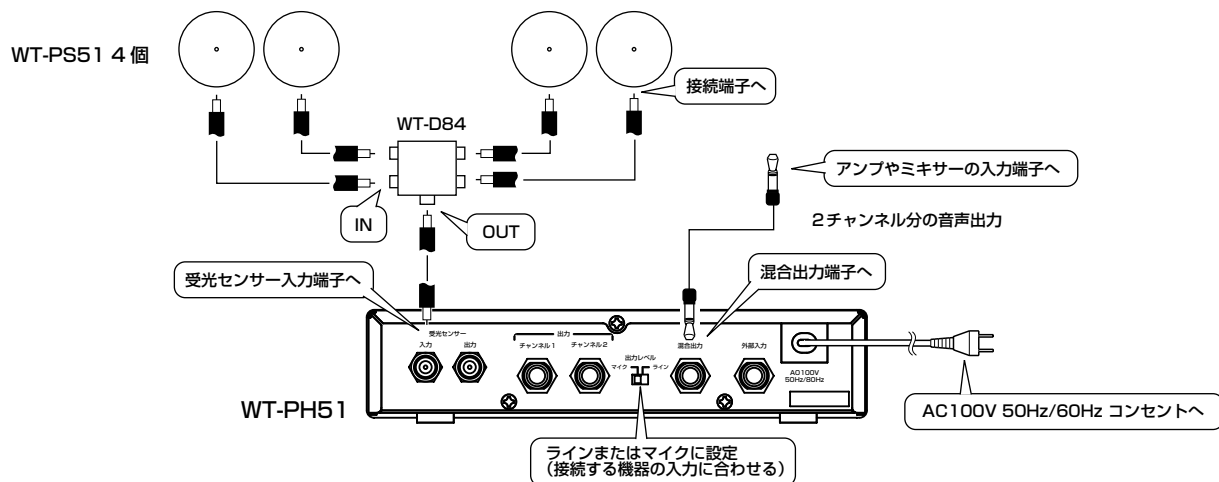
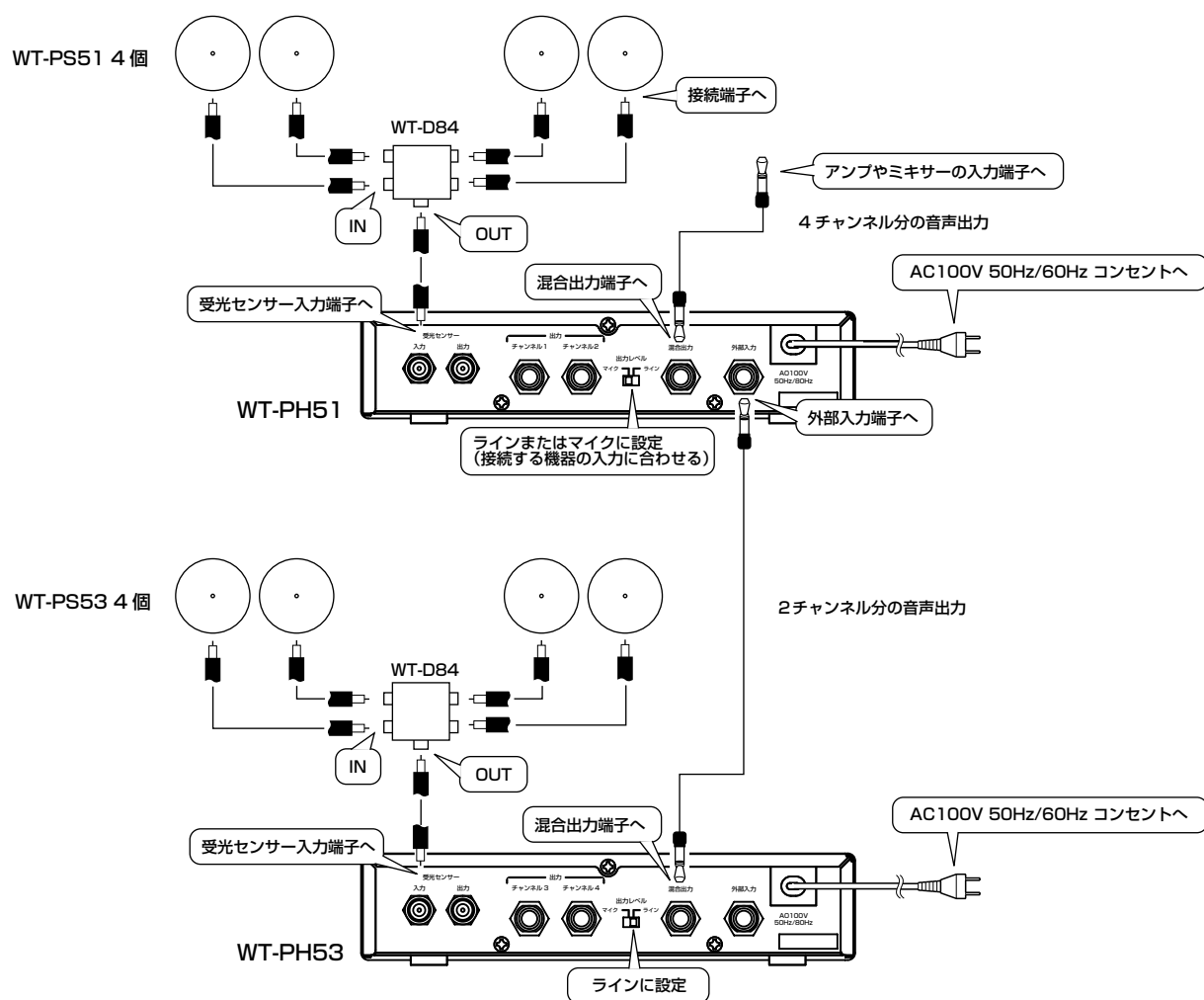
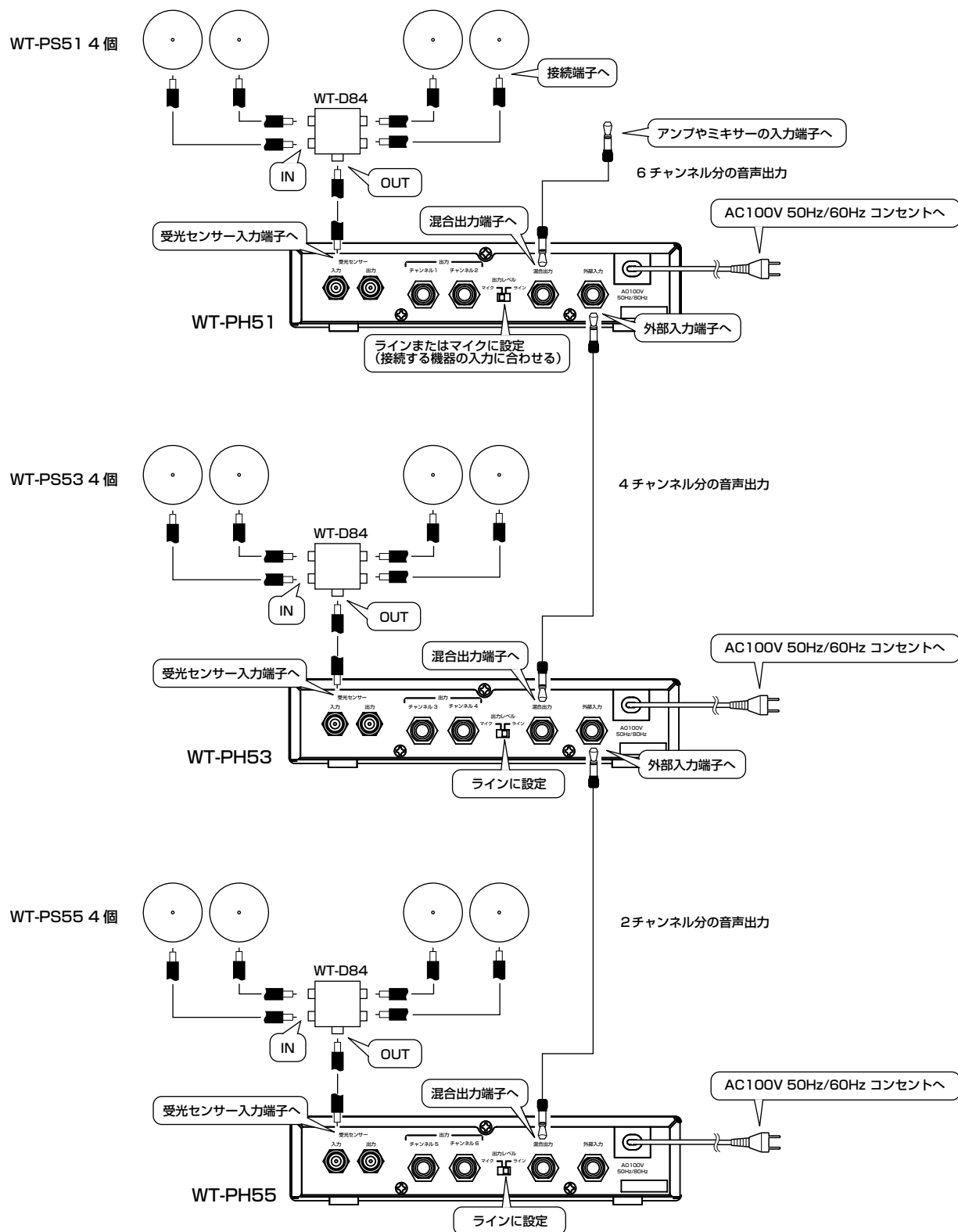
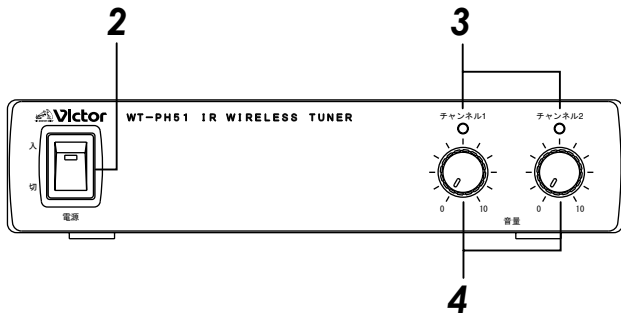
ご注意：

- 音声出力端子（個別）／（混合）および外部音声入力端子の接続には、φ6.3 単頭フォンプラグを使用してください。

■ 2チャンネルシステムの接続例

■ 4 チャンネルシステムの接続例

WT-PS51 4 個
接続端子へ
WT-D84
アンプやミキサーの入力端子へ
IN
OUT
4 チャンネル分の音声出力
AC100V 50Hz/60Hz コンセントへ
混合出力端子へ
受光センサー入力端子へ
WT-PH51
外部入力端子へ
ラインまたはマイクに設定
（接続する機器の入力に合わせる）

WT-PS53 4 個
2チャンネル分の音声出力
WT-D84
IN
OUT
AC100V 50Hz/60Hz コンセントへ
混合出力端子へ
受光センサー入力端子へ
WT-PH53
ラインに設定

■６チャンネルシステムの接続例

操作のしかた

1 接続を確認する

「システムの接続」に従い、受光センサー、カプラー、その他の機器が正しく接続されていることを確認します。

2 光ワイヤレスチューナーの電源を入れる

電源ランプ（赤）が点灯していることをご確認ください。また、接続された受光センサーの電源ランプが点灯していることをご確認ください。

WT-PS31,WT-PS51＝赤
WT-PS53＝緑
WT-PS55＝オレンジ

3 光ワイヤレスマイクロホンの電源を入れる

対応するチャンネルの光ワイヤレスチューナーの受信ランプ（緑）が点灯します。

4 光ワイヤレスチューナーの音量を調節する

光ワイヤレスマイクロホンに向かって声を出し、音量が最適となるように光ワイヤレスチューナーの音量つまみを調節します。右に回すと音量が大きく、左に回すと音量が小さくなります。

ご注意：

- 光ワイヤレスマイクロホンの電源を切った状態で、光ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯していないことをご確認ください。点灯している場合は、受光センサーが電波や光のノイズを受けている恐れがあります。そのような環境への設置は避けてください。
- 受光センサーの設置状態は、光ワイヤレスマイクロホンの音声で最終確認してください。受光ランプが点灯していても部屋の状況などによりノイズが発生することがあります。
- 受光センサーを窓際に設置すると、太陽光の影響を受けてノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。窓際からできるだけ（5m 以上）離して設置してください。それでも改善されない場合は、カーテン・ブラインドを使用すると改善する場合があります。
- 設置可能な天井高は 2m ～ 4m です。この範囲を超えるとノイズが発生したり、音が途切れたり、到達距離が短くなる場合があります。
- 光ワイヤレスマイクロホンの発光部および受光センサーを手で覆うと通信不良となり、音が途切れたりノイズが発生することがあります。（発光部の位置については、光ワイヤレスマイクロホン WM-PH57、および WM-PH58 の取扱説明書をご覧ください。）
  また、光ワイヤレスマイクロホンの発光部および受光センサーの表面が汚れている場合も同様です。汚れた場合は柔らかい布でふいてください。水ぶきの場合は、よく絞ってからふいてください。中性以外の洗剤、アルコール、シンナー類は変質し破損する恐れがあります。
- 光ワイヤレスマイクロホンと受光センサーの間に障害物があったり、人が横切ったりすると、ノイズが発生したり音が途切れたりする場合があります。また、太陽光などの強い光の影響を受けた場合も同様です。
- 同じチャンネルの光ワイヤレスマイクロホンを同時に使用することはできません。使用するとノイズが発生します。
- 赤外線方式のリモコンを受光センサーに向けて操作すると、ノイズが発生したり音が途切れたりする場合があります。受光センサーはリモコン受光部の近くを避けて設置してください。
- 光ワイヤレスマイクロホンが 2 本以上受光センサーに近接する (2m 以内) と、ノイズが発生することがあります。

こんなときは

症状	チェックする箇所	処置
電源スイッチを"入"にしても電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	● 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
受信しない。 （受信ランプが点灯しない）	● 光ワイヤレスマイクロホンと受光センサー、光ワイヤレスチューナーのチャンネルは同じですか？	● 光ワイヤレスマイクロホンと受光センサー、光ワイヤレスチューナーのチャンネルを合わせてください。 （☞ 5 ページ）
	● 受光センサーは光ワイヤレスマイクロホンの方向を向いていますか？	● 受光センサーは使用エリア全体をカバーするように設定してください。 （☞ 8 ページ）
	● 受光センサーと光ワイヤレスマイクロホンの間に障害物がありませんか？	● 受光センサーは光ワイヤレスマイクロホンとの間に障害物がないように設置してください。（☞ 8 ページ）
	● 光ワイヤレスマイクロホンの電池が消耗していませんか？充電しても電源ランプが点灯しないときは電池不良です。	● 光ワイヤレスマイクロホンを充電するか、電池を交換してください。
	● 光ワイヤレスチューナー、受光センサー、センサーカプラーとケーブルが正しく接続されていますか？	● 接続を確認してください。 （☞ 9 ～ 11 ページ）
音がでない。 （受信ランプは点灯している）	● 光ワイヤレスチューナーとその他の機器は正しく接続されていますか？	● 接続を確認してください。 （☞ 10 ～ 11 ページ）
	● 光ワイヤレスチューナー前面の音量つまみの位置が"0"になっていませんか？	● 音量つまみを右に回して音量を適正に調節してください。 （☞ 6、12 ページ）
音が小さい、または大きい。	● 光ワイヤレスチューナー背面の音声出力レベル切換スイッチは適正位置にありますか？	● 音声出力レベル切換スイッチを正しい位置にしてください。 （☞ 6 ページ）
	● 光ワイヤレスチューナー前面の音量つまみは適正位置にありますか？	● 音量つまみを左右に回して音量を適正に調節してください。 （☞ 6、12 ページ）
雑音や異音がする。	● 光ワイヤレスマイクロホンとスピーカーが近づきすぎてハウリングを起こしていませんか？	● 光ワイヤレスマイクロホンはスピーカーから離れてご使用ください。
	● 近くで同じチャンネルの光ワイヤレスマイクロホンを使用していませんか？	● 光信号が届く範囲で同じチャンネルの光ワイヤレスマイクロホンを使用しないでください。
	● 光ワイヤレスマイクロホンが2本以上受光センサーに近接していませんか？	● 光ワイヤレスマイクロホンは受光センサーから 2m 以上離れてご使用ください。
	● 近くに赤外線や光を発している機器がありませんか？	● 赤外線や光を発する機器のご使用をおやめください。
光ワイヤレスマイクロホンの使用可能範囲が狭い。	● 光ワイヤレスチューナー、受光センサー、センサーカプラーとケーブルが正しく接続されていますか？	● 接続を確認してください。 （☞ 9 ～ 11 ページ）
	● 各受光センサーから光ワイヤレスチューナーまでのケーブルは同じ長さになっていますか？	● 各受光センサーからセンサーカプラーの中継も含めて光ワイヤレスチューナーまでのケーブルを同じ長さにしてください。（許容差は 2m） （☞ 9 ページ）
	● 光ワイヤレスマイクロホンの発光パワーが Low になっていませんか？	● 使用範囲と光ワイヤレスマイクロホンの発光パワーを適正に設定してください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	：光ワイヤレスチューナー
品番	：WT-PH51
	：WT-PH53
	：WT-PH55
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■ 電気的仕様

受信チャンネル数 ： 2
： WT-PH51 チャンネル 1 2.06 MHz
チャンネル 2 2.56 MHz
WT-PH53 チャンネル 3 2.81 MHz
チャンネル 4 3.16 MHz
WT-PH55 チャンネル 5 3.46 MHz
チャンネル 6 3.86 MHz

トーンスケルチ周波数 ： 32.768 kHz

出力レベル ： 音声出力端子（個別）
Φ6.3 単頭フォンジャック
-10 dB（10 kΩ 不平衡）
音声出力端子（混合）
Φ6.3 単頭フォンジャック
マイク -50 dB（10 kΩ 不平衡）
ライン -10 dB（10 kΩ 不平衡）

■ 一般

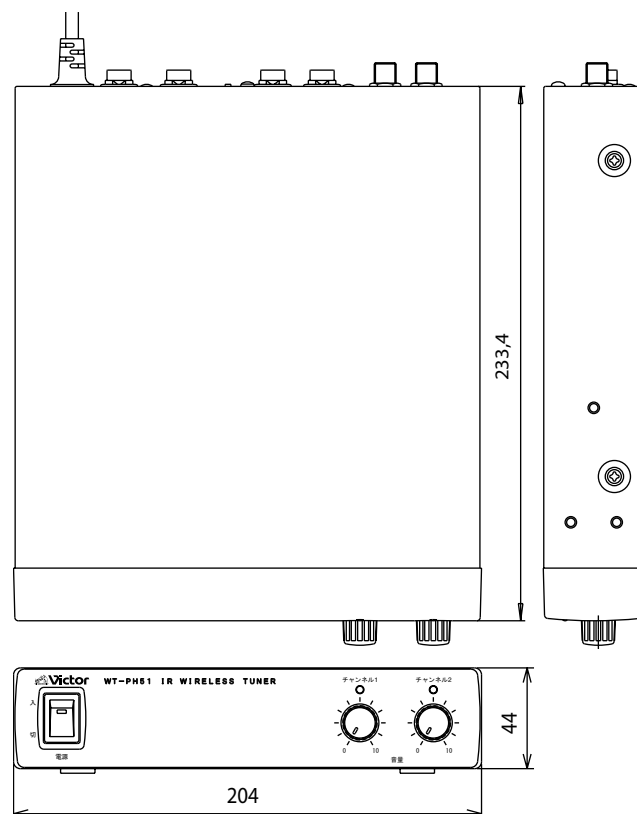
使用温度範囲 ： 0 ℃～ 40 ℃
電源 ： AC100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力 ： 9 W
質量 ： 1.5 kg
外形寸法 ： 204 mm × 44 mm × 233.4 mm
（突起部を含まず）（幅×高さ×奥行き）

■ 付属品・添付物

取扱設置説明書................................... 1
保証書.. 1
安全上のご注意................................... 1
ビクターサービス窓口案内......................... 1

■ 関連商品（別売）

光ワイヤレスマイクロホン（ハンド型）
： WM-PH57
光ワイヤレスマイクロホン（ペンダント型）
： WM-PH58
受光センサー（ドーム型） ： WT-PS51、WT-PS53、WT-PS55
受光センサー（コーナー型） ： WT-PS31（WT-PH51 専用）
チャージャー ： WT-C52
センサーカプラー ： WT-D82、WT-D84
ラックマウント金具 ： WT-U51

■ 外形寸法図（単位：mm）

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

WT-PH51 / WT-PH53 / WT-PH55 光ワイヤレスチューナー

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話(045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7203

LST0827-001B